

## 生物多様性の主流化を目指す

### 「市民のための生物多様性全国出前講座」プロジェクト

#### 通称:Nカレのテーマ選定会議

- 時間：14:20～15:00
- 対象：自然観察指導員
- 開催：大分にて 2016.11.23 開催

通称Nカレとは、生物多様性に関わる様々なテーマを、時节的関心事、開催地の現況、将来に渡る問題などを取り上げ、テーマに従った専門家を招き理解を深めると共に現場での活動に活かすことを目指すものである。

#### これまでのテーマいろいろ

- 「風景の『なぜ?』を読み解こう。」
- 「里山でひたむきに生きるタカ サシバの話」
- 「土がささえる食と自然」
- 「コンサベーション・サイコロジー(保全心理学)の基礎を学ぼう」
- 「ちょうちよが教えてくれること」
- 「生物多様性の活かし方 in 仙台」
- 「いま、改めて知る、生物多様性という言葉の奥深さ in 愛媛」
- 「南三陸味わいサロン ～味覚で伝える自然のめぐみ～」
- 「妖怪と自然」
- 「広重とめぐる江戸の自然」
- 「生物多様性 世界の最新動向を学ぼう@長野県」
- 「初心者のための ネイチャーフォト講座」
- 「思わず誰かに伝えたいくなる！ ペンギンの世界」
- 「可愛い生きもの～アブラムシ～」
- 「いま、改めて知る、生物多様性という言葉の奥深さ in 横浜」
- 「みんなで学ぼう！ くらしと生物多様性」

■「自然、人、歴史 小笠原の魅力をひも解こう」

■「酒造りは里づくり」

事務局に届いているリクエスト案

■別府市・堀さんから

- 1) 「温泉と自然」：温泉地に見られる特殊な生態系について、陸地と水中の両面からの話があると面白いかなと。講師としては杉森賢司氏や香山雅純氏など。
- 2) 「サルとヒト」：サル学の発祥地である高崎山のニホンザルを通して人間社会を考えてみるのも面白いのかなと。講師としては山極寿一氏や川本芳氏や中川尚史氏など。
- 3) 「バイオミミック」：生物多様性の一面として、自然界から得る不思議なデザインについての興味ある話題。講師としては石田秀樹氏など。

※バイオミミック：自然界の生物が有する構造や機能を模倣し、新しい技術を開発することを意味する語。「バイオミメティクス」とも言い、日本語では「生体模倣」や「生物模倣」と訳されることが多い。代表的な例として、「ハスの葉」を模倣して作られた水を反発する素材や、「クモの糸」を模倣して作られた強靱な繊維などを挙げることができる。

■NACS-J・道家さんから

2月の九州自然協議会の折、11月23日大分でNカレを行う旨相談しましたがその後の検討状況いかがでしょうか。

今回の熊本地震の状況を受け、当初想定していた「生物多様性とは」といった内容ではなく防災・減災あるいは、復興における生物多様性の考え方などをテーマとすることもありではないかと事務局側で考えています。

例えば、中静先生やそのご紹介の講師など東北の事例を想定し、今、復興期の東北で何が話題になっているかとか、初期の緊急対応後に行政でどういう動きが起こって、自然保護の視点からどういう取り組みが必要なのかなどを考えたりするような場の設定もありではないかと思っています。

地域の現状など体験していない身としては、相応しい提案なのか自信のないところもありますが、こちらは日程（12月までしか助成金がない）以外は柔軟に対応できる部分はありますので、ご検討ください。 道家